

広島県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第175回

令和6年1～3月期 実績

令和6年4～6月期 予測

令和6年3月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨 この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約18,833企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。
- 広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。
2. 調査対象 (対象地区) 県内15商工会
祇園町、広島東、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、三次広域、備北
(対象企業) 231社
製造業50 建設業41 小売業70 サービス業70
3. 調査方法 経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間 令和6年1月～3月期実績、及び令和6年4月～6月期見通し
5. 調査時点 令和6年3月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運
DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI=50-20=30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上

8. 表記基準 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)

https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html

- 中国経済産業局 (中国地域の経済動向)

<https://www.chugoku.meti.go.jp/toukei/keiki/keiki.html>

- 広島県 (広島県経済の動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/75/1244079054510.html>

1.ポイント ※(独)中小企業基盤整備機構「第175回中小企業景況調査(2024年1-3月期)のポイント」より

・中小企業の業況判断DIは、3期連続して低下

全産業の「業況判断DI(前年同期比)」は、前期(2023年10-12月期)から3.5ポイント減(▲18.3)と3期連続して低下。産業別では、製造業で4.8ポイント減(▲19.9)、卸売業で4.8ポイント減(▲15.1)、サービス業で4.5ポイント減(▲11.7)、小売業で2.0ポイント減(▲28.4)、建設業で1.6ポイント減(▲14.5)と全ての産業で低下。

来期見通しは、全産業で上昇し、産業別では、建設業を除く4産業で上昇の見込み。

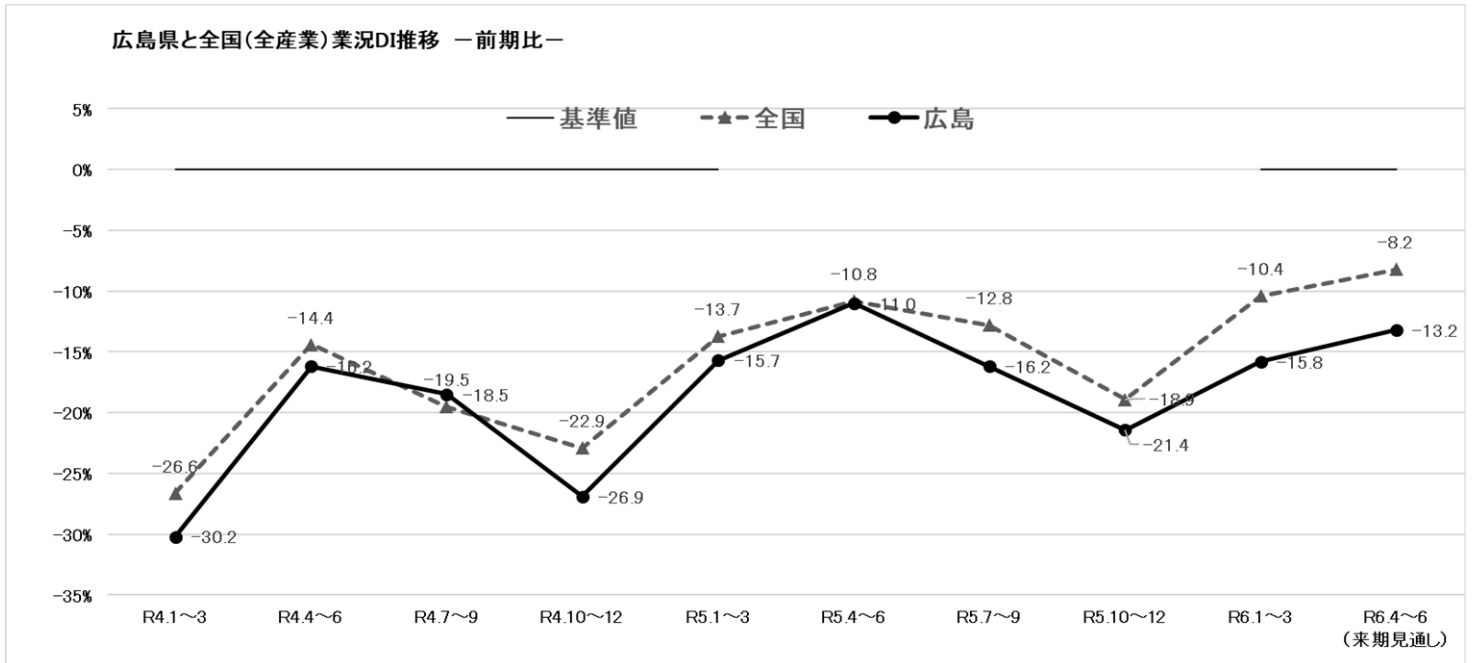
・売上単価・客単価DIは、産業別の格差が拡大

「売上単価・客単価DI(前年同期比)」は、小売業のみマイナス圏で、コロナ前に比べ産業間での格差が拡大している。一方、「原材料・商品仕入単価DI(前年同期比)」は、産業間の格差は相対的には縮小しているが、売上単価に比べて高い水準が継続しており、いずれの産業においても原材料価格は高止まりの状況にある。

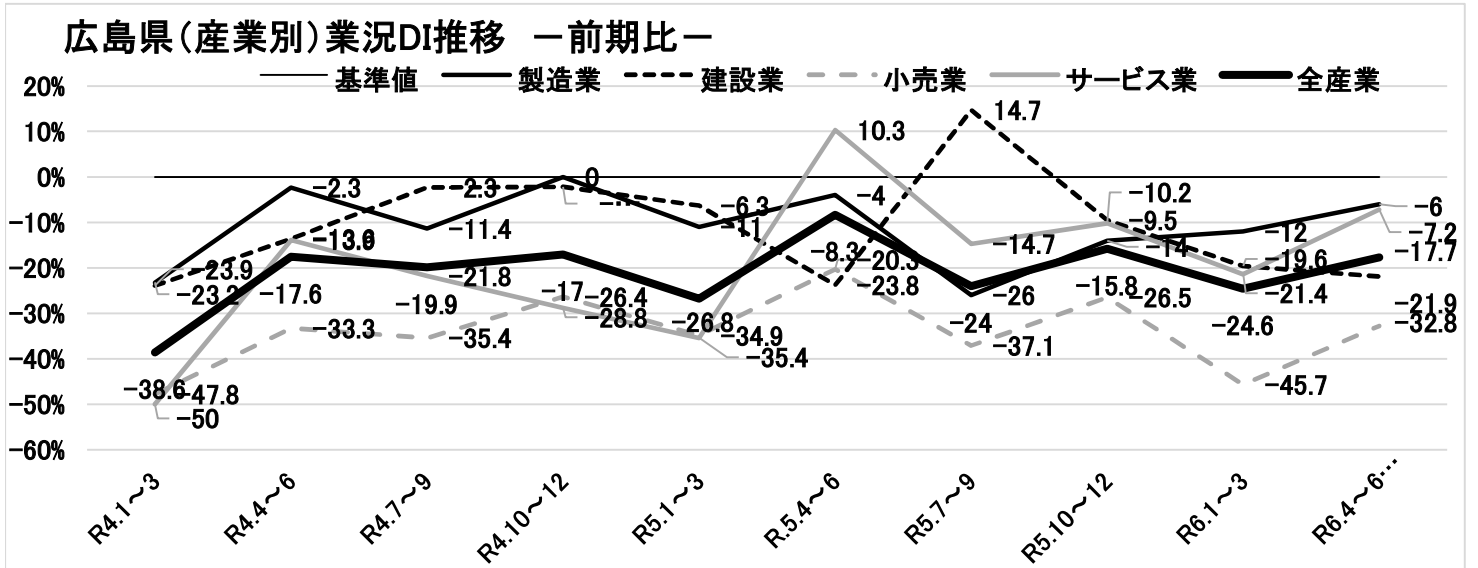
・北陸地域の業況判断DIは他地域に比べて大きく低下

全産業の「業況判断DI(前年同期比)」について、北陸地域では、2022年度以降、石川県が他県より高い水準で推移していたが、令和6年能登半島地震の発生を受けて、今期大きく低下。地域別の比較では、全地域で前期に比べDI値が低下しているが、北陸地域は11.1ポイント減(▲27.1)と全国及び他地域に比べて低下幅が大きくなっている。

2.広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。



3.広島県(産業別) ※商工会地域のみ



製造業（商工会地域）

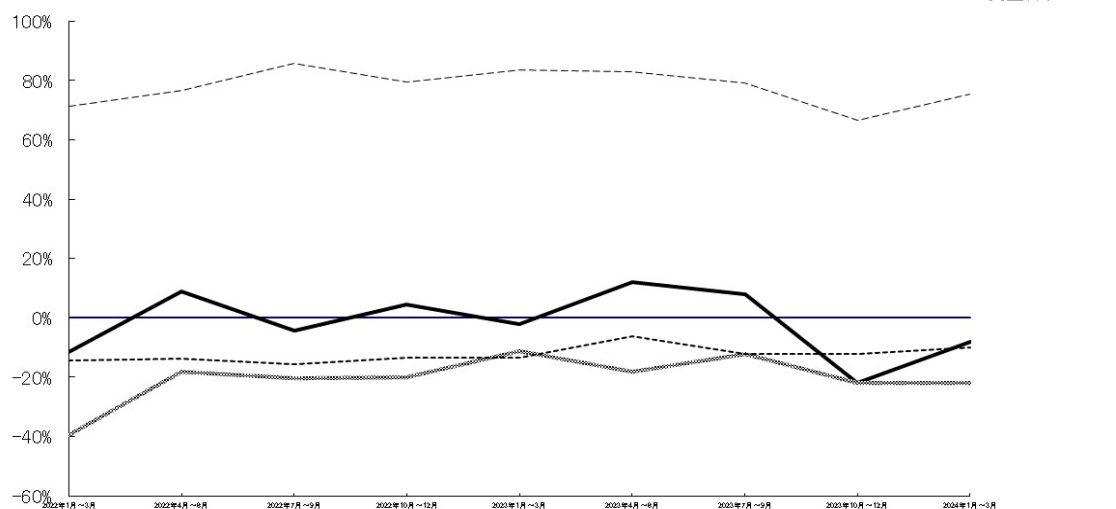
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		（前年同期比）	
	（前期） R5.10～12	（今期） R6.1～3	前期との比較	（来期見通し） R6.4～6
売上額	-22.0	-8.0	↗	-8.0 →
原材料仕入単価	66.6	75.5	↗	65.3 ↘
採算	-22.0	-22.0	→	-12.0 ↗
資金繰り	-12.0	-10.0	→	-6.0 ↗

広島県 製造業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D.1



..... 企業のコメント

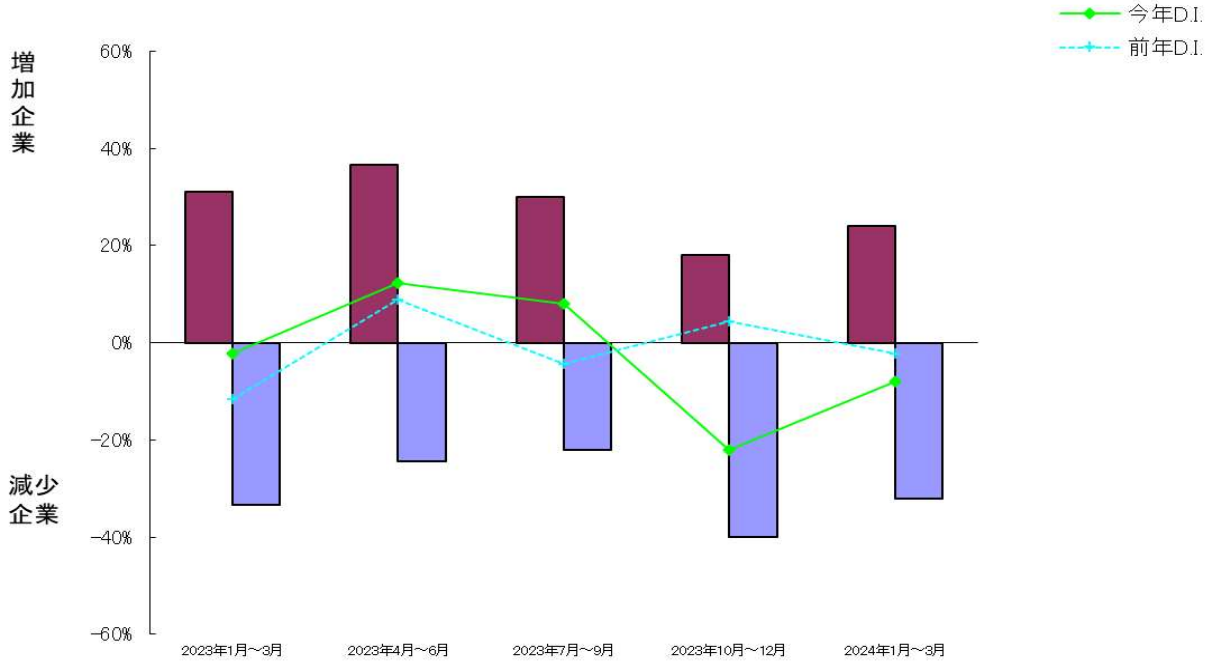
- ・ 原材料の価格上昇や人件費の増加により、売上は上昇しても、経常利益の方が同じように上昇するとは限らない。
- ・ かきの生育不良等を受け、かきの売値が高く、生産量も減少。一定の製品への価格上昇も行うも消費の動きが鈍化しているため、全体の売り上げは伸びていない。
- ・ 物価高の状況ではあるが製品価格への転嫁は困難。案件は増加しつつあるが、全体を総合的に管理する体制の構築が課題である。
- ・ 委託加工はコロナ前から比べ半分に減少のまま回復しない。資材等特殊なものは何とか続いている。又和紙系は新規参入者の増加もあり競争は厳しく、単価面での原料の値上がりと製品価格の値下がり等が続き価格転嫁が難題。
- ・ コロナの制限がゆるくなり、1年もたつと需要も停滞してきた感じがする。
- ・ 年始あたりからやっと動き出した感じで引き合いが増えてきている。EV関連のものだが今後部品点数が減る方向にあり、様子見である。当社としては新規取引の営業展開、自動車以外の需要掘起しを検討している。

製造業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 製造業

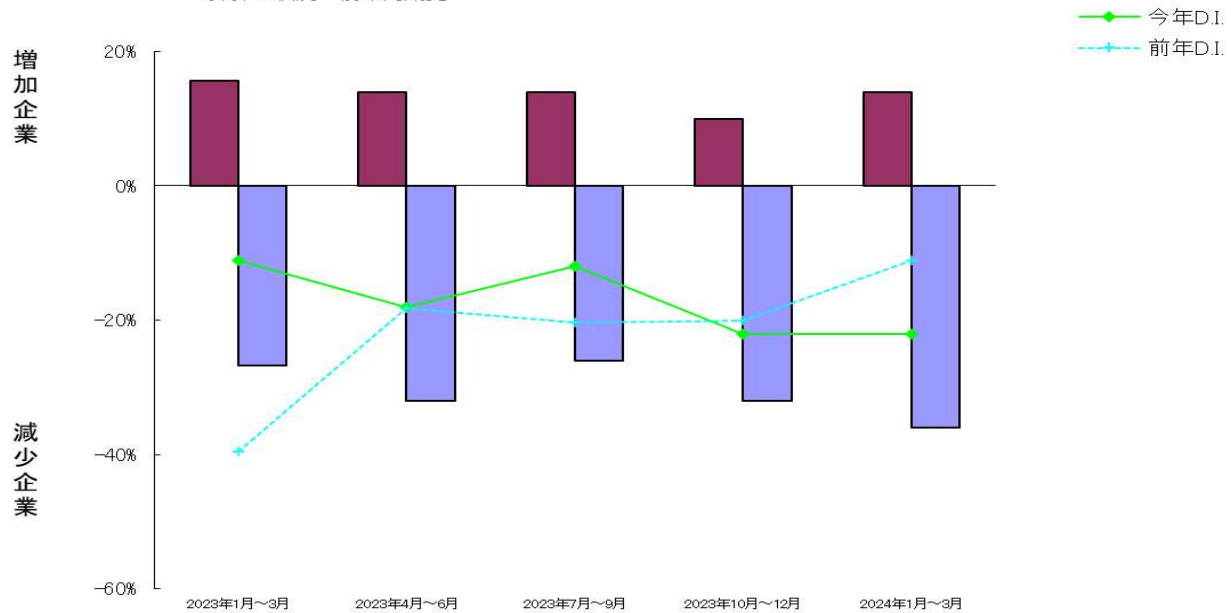
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 製造業

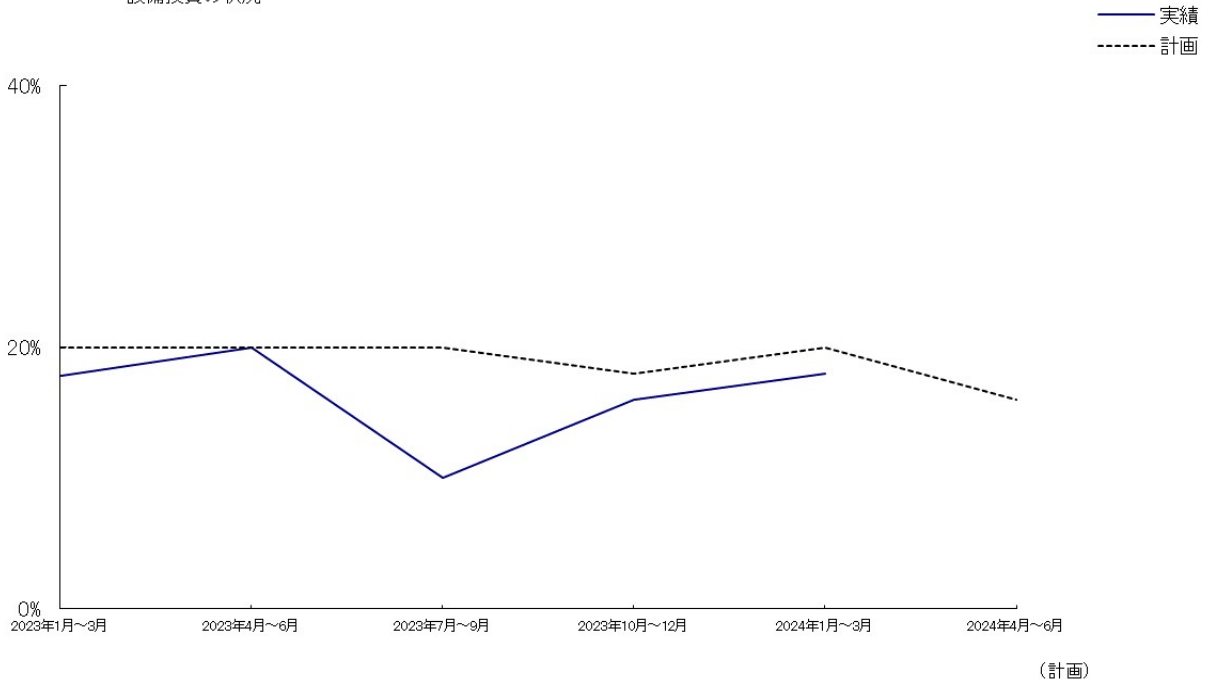
採算の状況 - 前年同期比 -



4.設備投資の状況

広島県 製造業

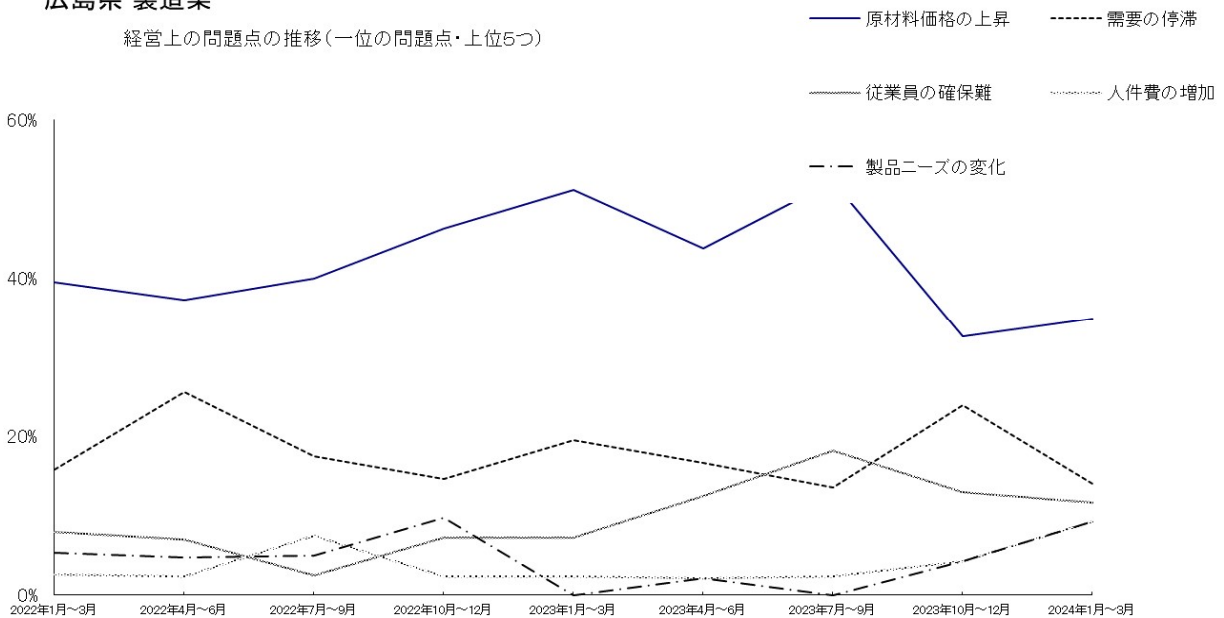
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 製造業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



建設業（商工会地域）

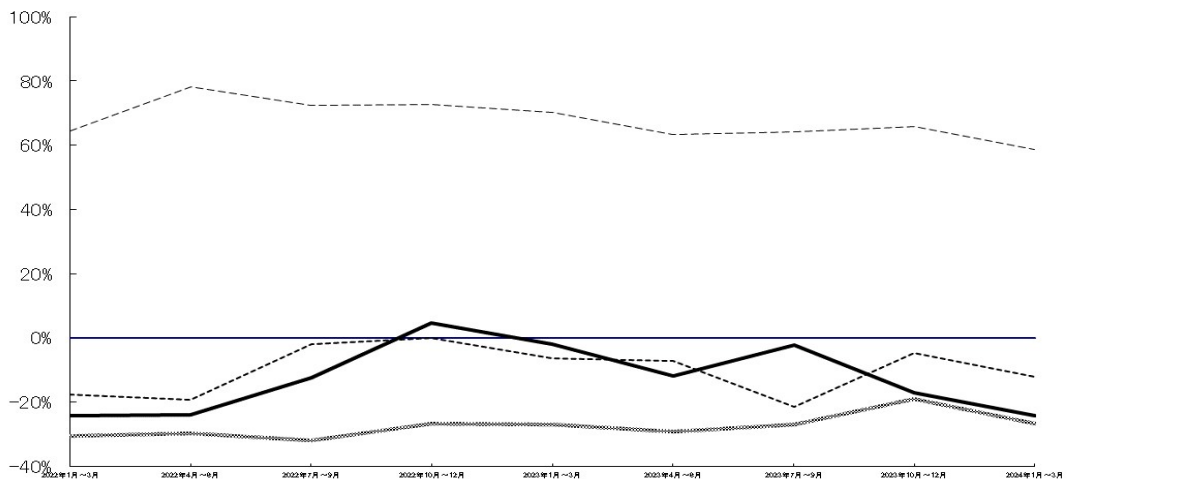
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI 主要項目	(前期)		(今期)		(来期見通し)	
	R5.10~12	R6.1~3	前期との比較	R6.4~6	今期との比較	
売上額 (完成工事額)	-17.0	-24.4	↘	-24.3	→	
材料仕入単価	65.9	58.6	↘	41.5	↘	
採算	-19.1	-26.8	↘	-24.4	↗	
資金繰り	-4.8	-12.2	↘	-14.6	↘	

広島県 建設業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D.1

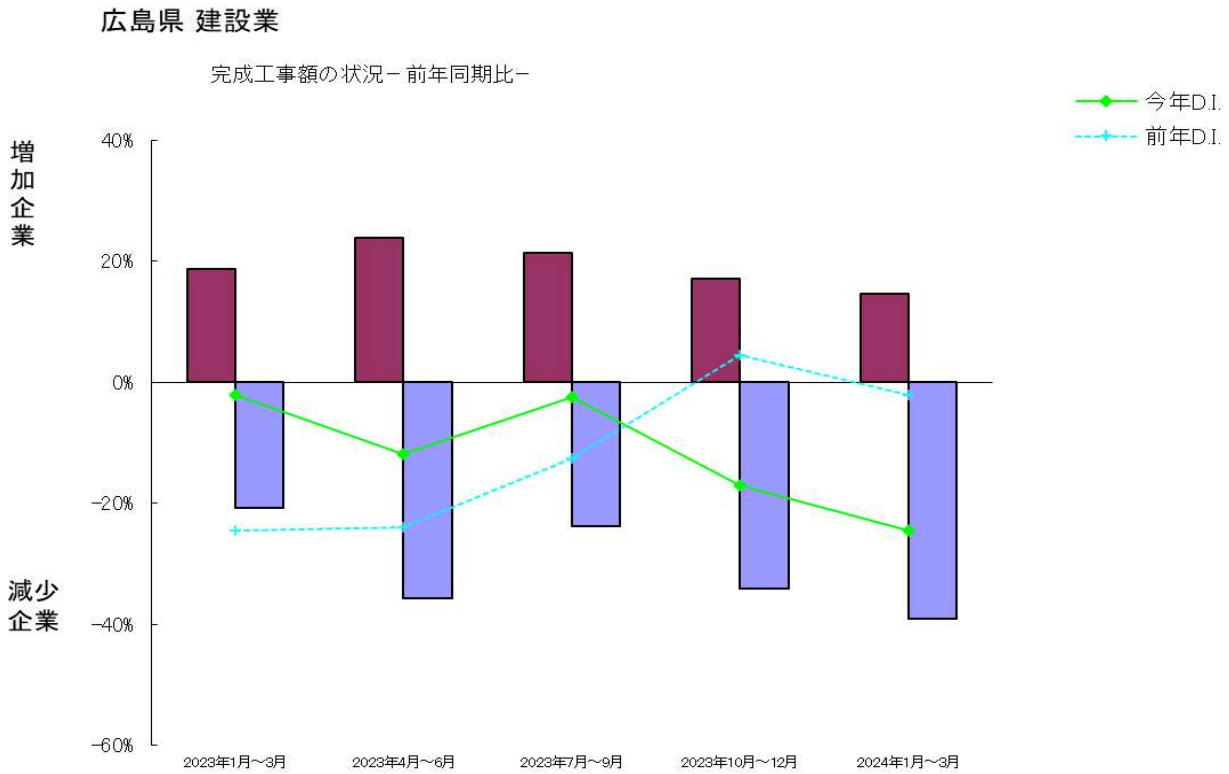


..... 企業のコメント

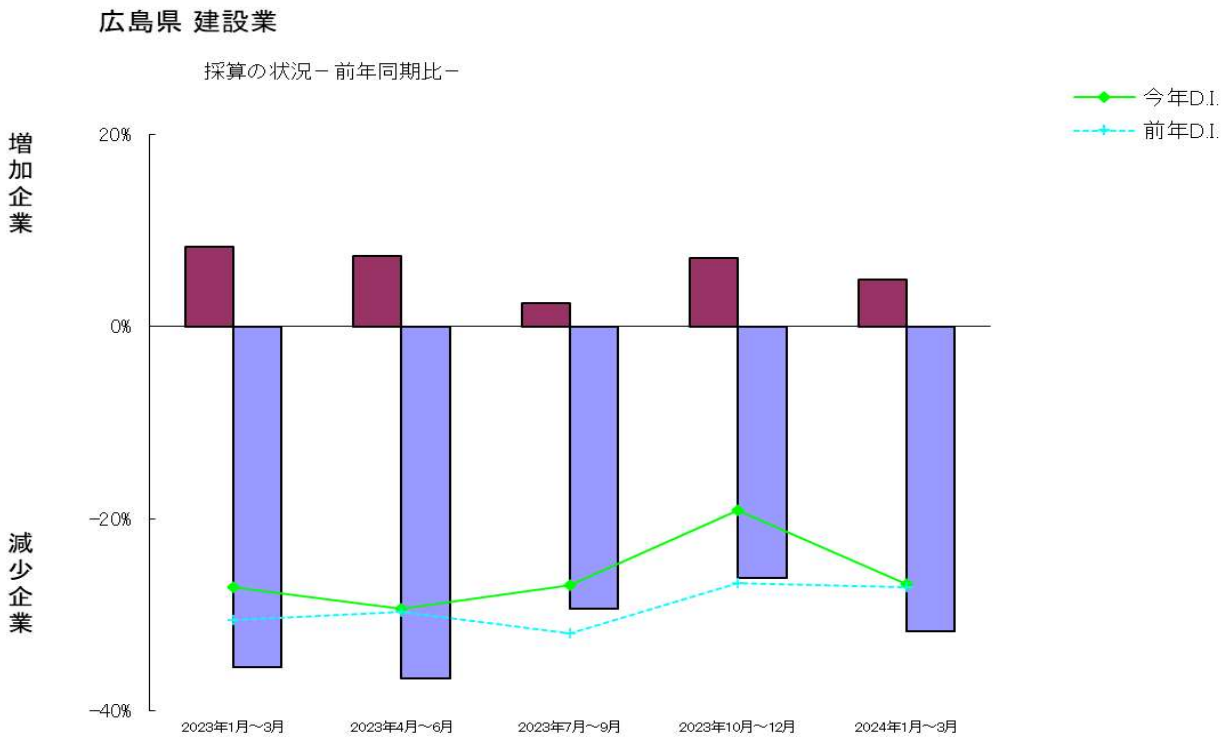
- ・ 材料費や物価の高騰につき、利益が出ていないので経営状況は悪い。
- ・ 民間の需要が少なく、ロスが多いのも事実です。安さを求める客が多く、付加価値が低い。衰退していく不安が大きい。
- ・ 物価の上昇が続く中、当社の業務内容の分野は影響が出やすく、今後は住宅設備の受注工事は減少方向にあると予想している。前年、前期と比較した時には大きな変化は見られないが、決して上昇傾向にあるとは言えない。
- ・ 材料入手困難や価格上昇により先行きに不安を感じる。
- ・ 震災により仕入れが難しくなり価格が高騰している。
- ・ 仕事量はあるが人手不足で受注に至らないことがあり機会損失が生じている。

建設業（商工会地域）

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-



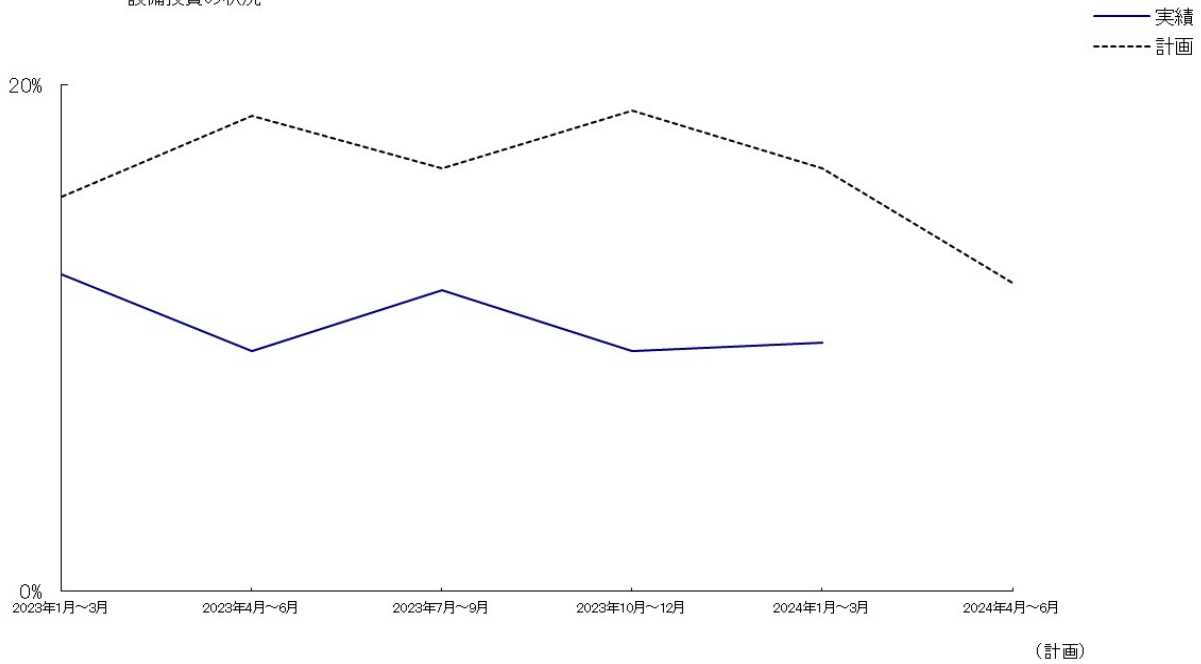
3.採算(経常利益) -前年同期比-



4.設備投資の状況

広島県 建設業

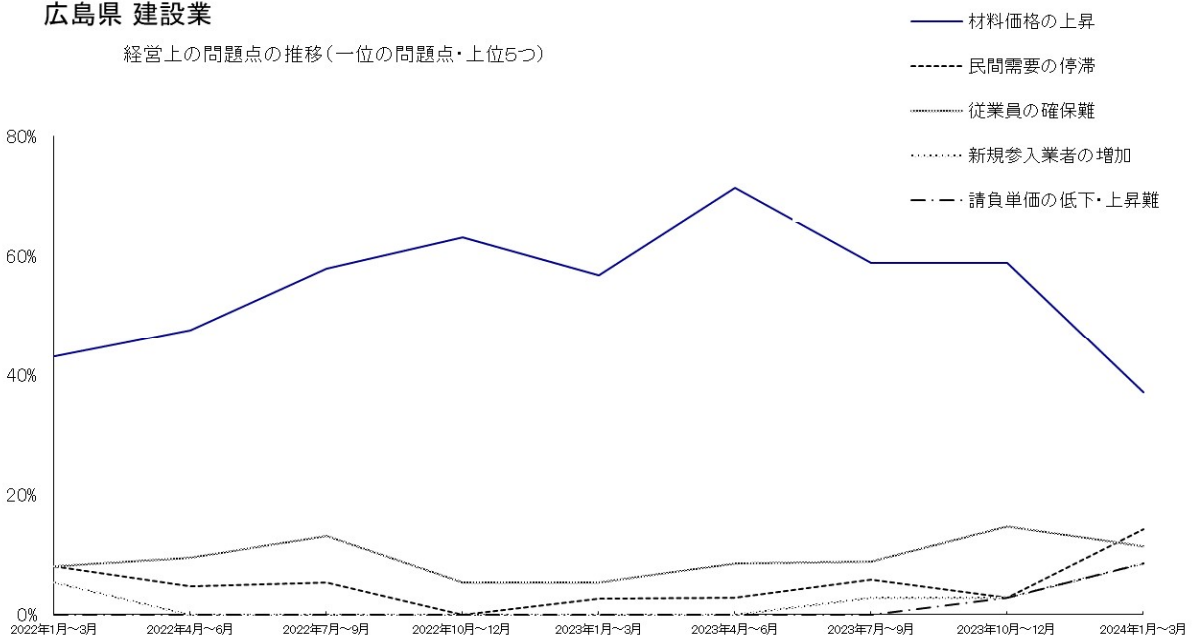
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 建設業

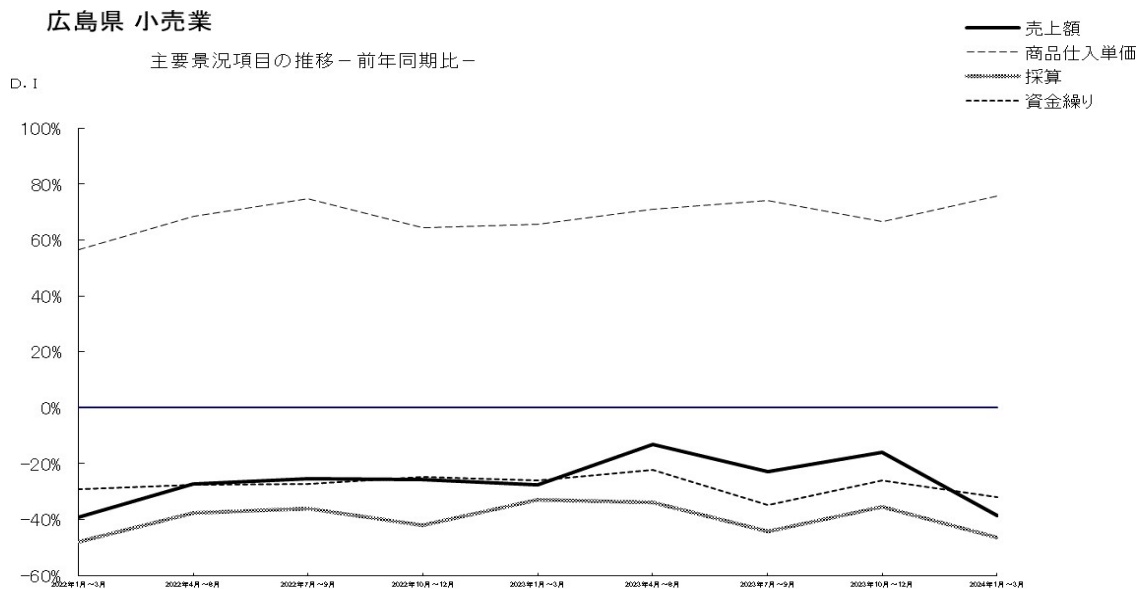
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



小売業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	小売業 DI		（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R5.10~12	R6.1~3	前期との比較	R6.4~6	今期との比較			
売上額	-15.9	-38.5	↓	-40.0	↓			
商品仕入単価	66.7	75.7	↑	62.9	↓			
採算	-35.3	-46.4	↓	-45.0	→			
資金繰り	-26.1	-31.9	↓	-33.3	↓			



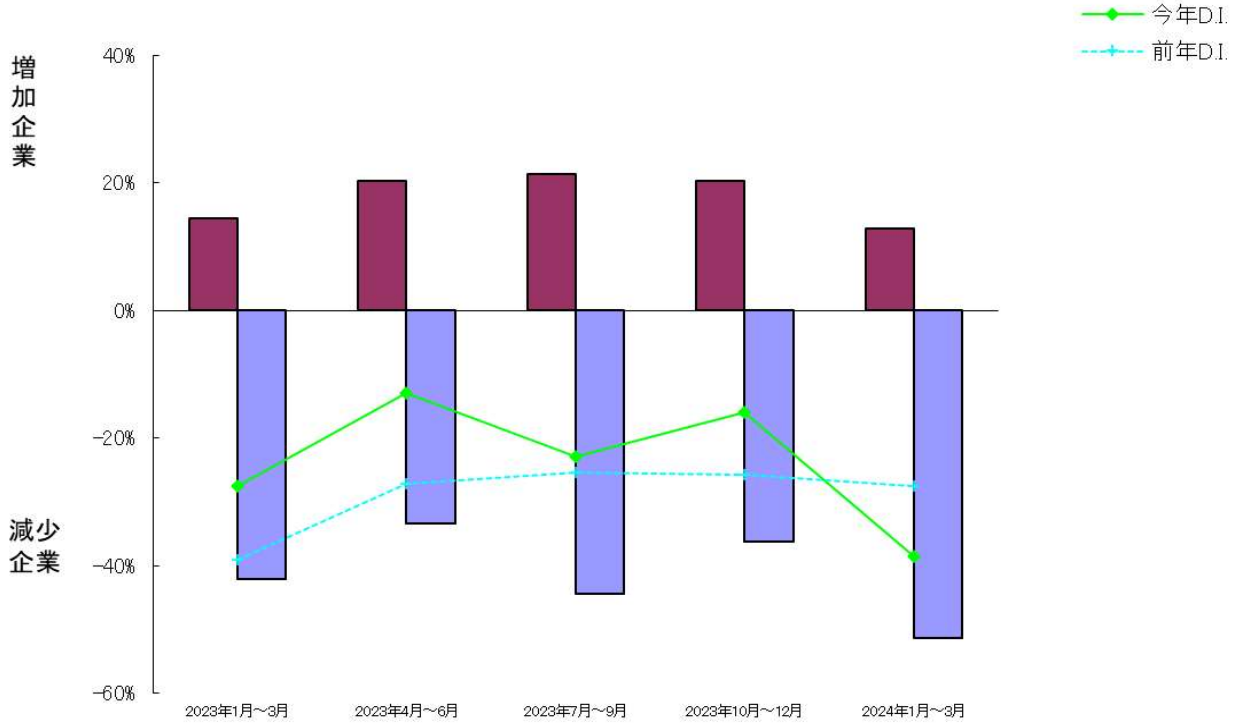
- 企業のコメント
- ・ 9月までは前年比プラスだったが、10月以降、柑橘出荷量の大幅な減少を主因に売上が低下。この影響は5月頃まで続くと思われる。
 - ・ 昨年5月以降、コロナの影響も一段落したと思っていたが、物価高で周辺的大型店や安売り店への買い物移行が否めない。客単価の減少・仕入単価の上昇で業況は好転していない。
 - ・ 従業員の賃金を引き上げたが、新たな人材は入ってきていない状況。深刻な人材不足に陥っている。ガソリン補助金の効果も春先までと予想されるため、今春以降は大変厳しい状況になると思われる。
 - ・ メーカー・問屋・小売りの形が崩れる中、メーカーが通販やアウトレットで売上を伸ばそうとしていて、生産背景のない我々小売店は泥沼のごとく売上を落としてゆくであろう。
 - ・ 近隣が安値で販売するので客が流れる。それに付随して当店も値を下げざるを得ない。暖冬も関係してくる。様々な条件が重なり採算が取れない状況である。
 - ・ コロナの影響もなくなり行事も活発になり、お弁当屋飲料の注文が増えていくことが考えられる。SNSの投稿からの注文も増加している。

小売業（商工会地域）

2.売上額 -前年同期比-

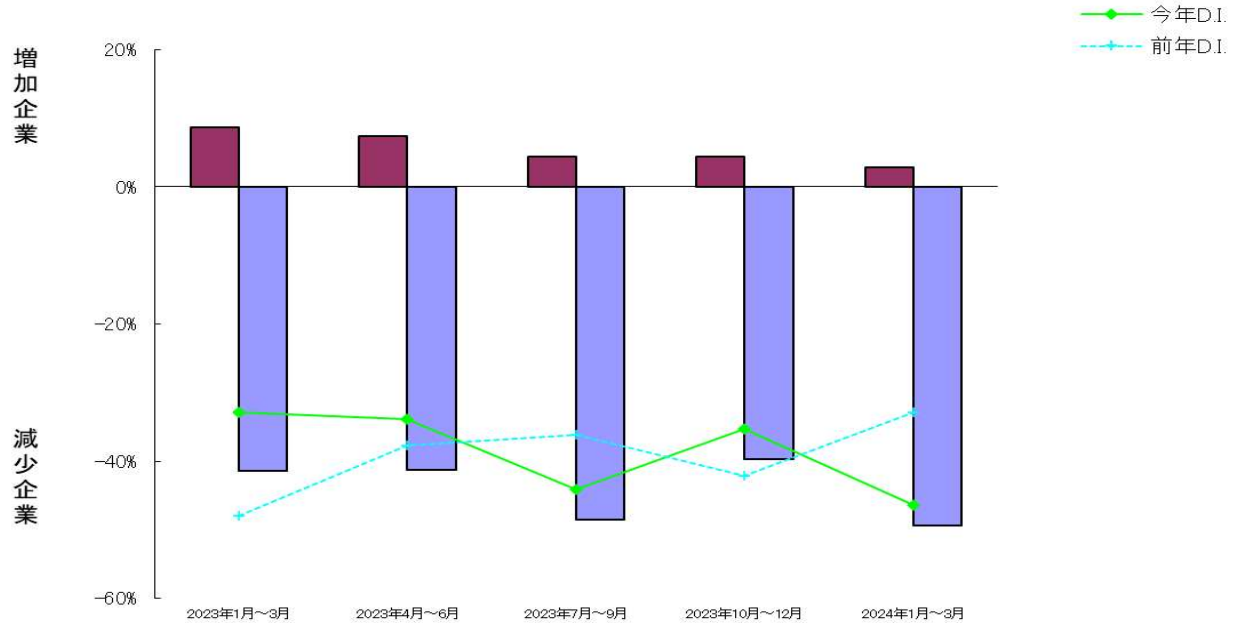
広島県 小売業

売上額の状況 - 前年同期比 -



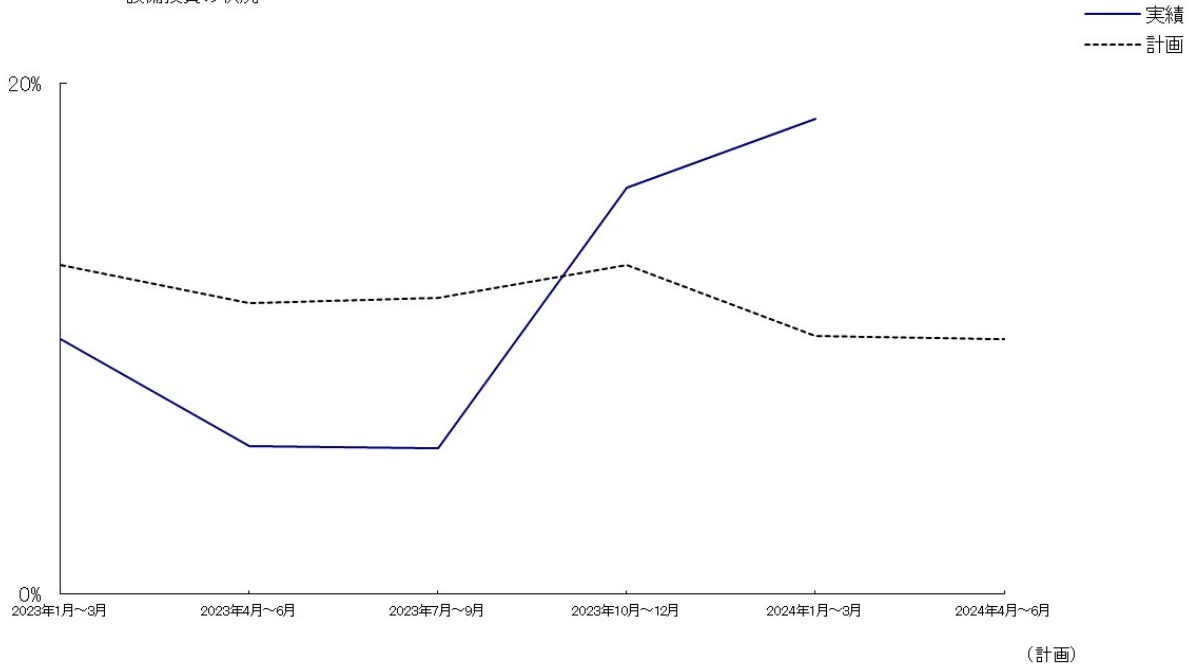
広島県 小売業

採算の状況 - 前年同期比 -



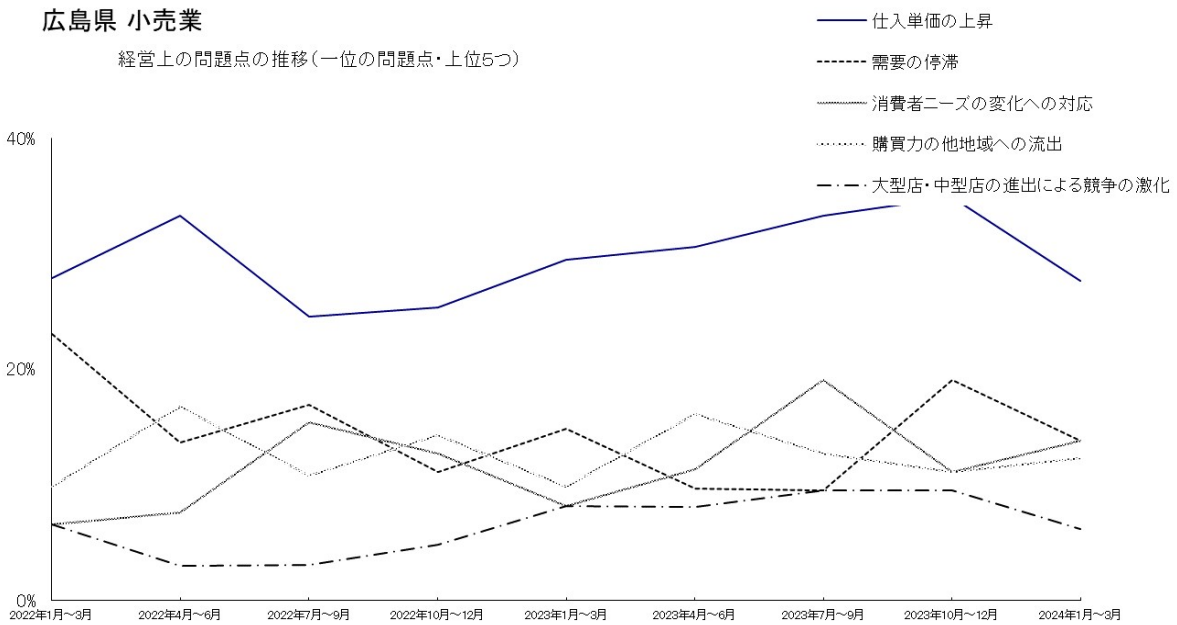
4.設備投資の状況

広島県 小売業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 小売業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



サービス業（商工会地域）

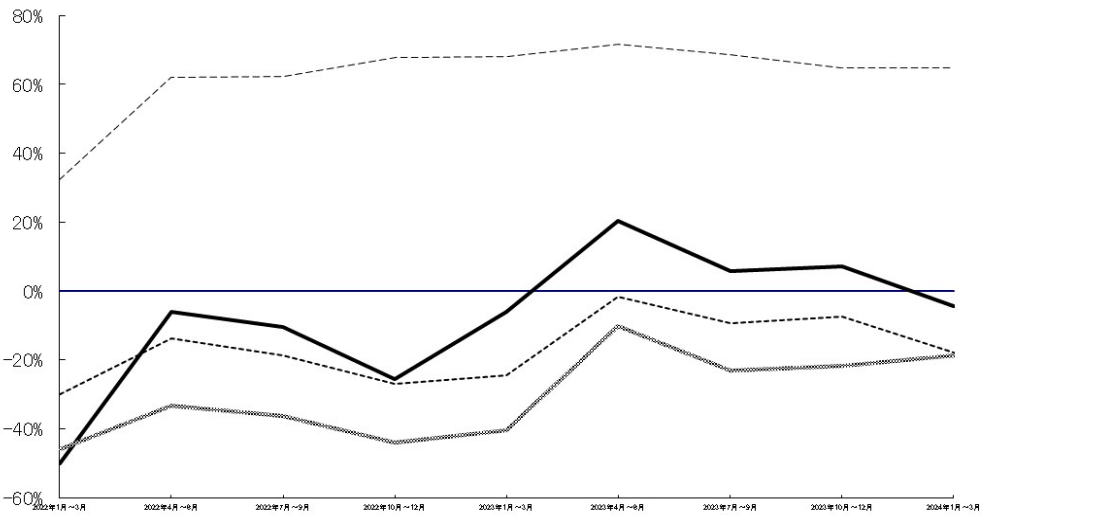
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R5.10～12	R6.1～3	前期との比較	R6.4～6	今期との比較	
売上額	7.2	-4.3	↘	-4.2	→	
材料等仕入単価	64.7	64.7	→	58.9	↘	
採算	-21.7	-18.6	↗	-11.4	↗	
資金繰り	-7.5	-17.9	↘	-14.9	↗	

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D.1



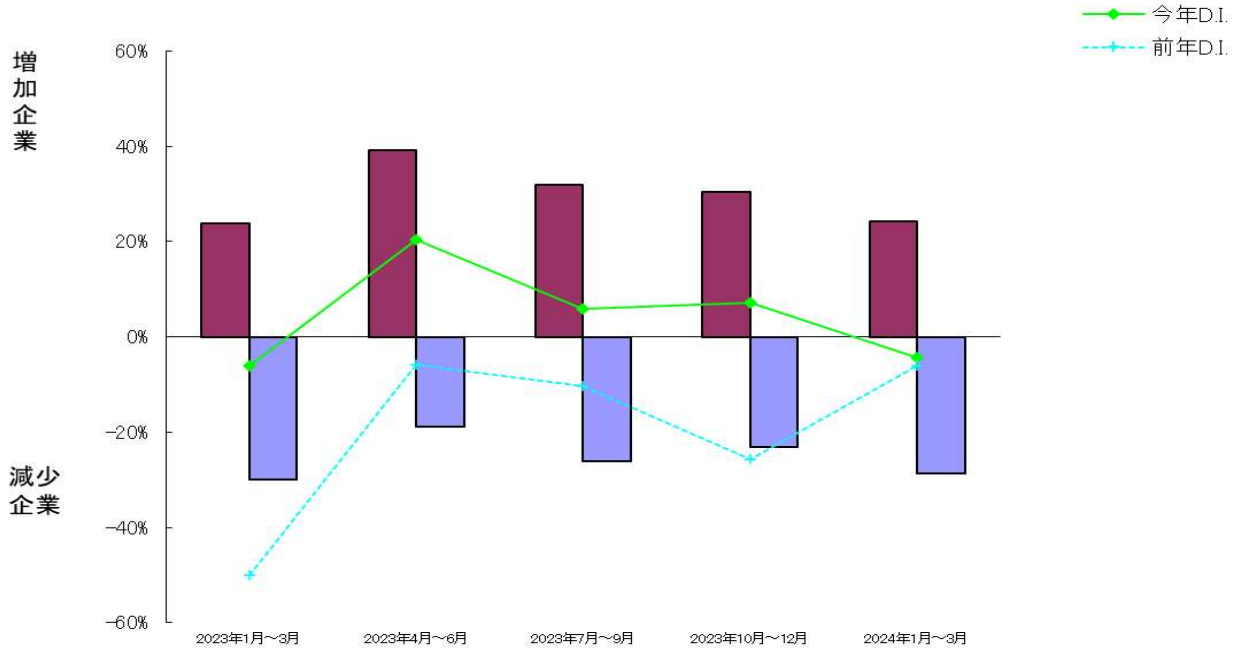
- 企業のコメント
- ・ コロナの5類移行に伴い、制限のない営業が出来ている。また暖冬傾向にあり、積雪が少なく利用者にとっては移動のしやすさもあり、冬場でも売り上げの確保が出来ている。キャンプ場については利用者は減少している。
 - ・ 2024年問題を抱え、荷主に値上げや待機時間交渉をするがなかなか受入れてもらえない。
 - ・ 人手不足および燃料価格高騰により利益確保が困難となっている。ドライバー不足は深刻な状況である。
 - ・ すべてのものがあがり、値上げしても追いつかない。値上をすることで売上高はあがったものの、客数は減少傾向にある。
 - ・ 子どもの人数が徐々に少なくなり需要が複雑になっている。対応すべく多角経営とか撮影方法をグラッと変えろとか思考中。
 - ・ 物価高騰に消費が追い付いていないため厳しい状況。
 - ・ 施設の老朽化、改修費の負担が大きい。利用者ニーズに対応すべく、施設改修は必須となっている。

サービス業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 サービス業

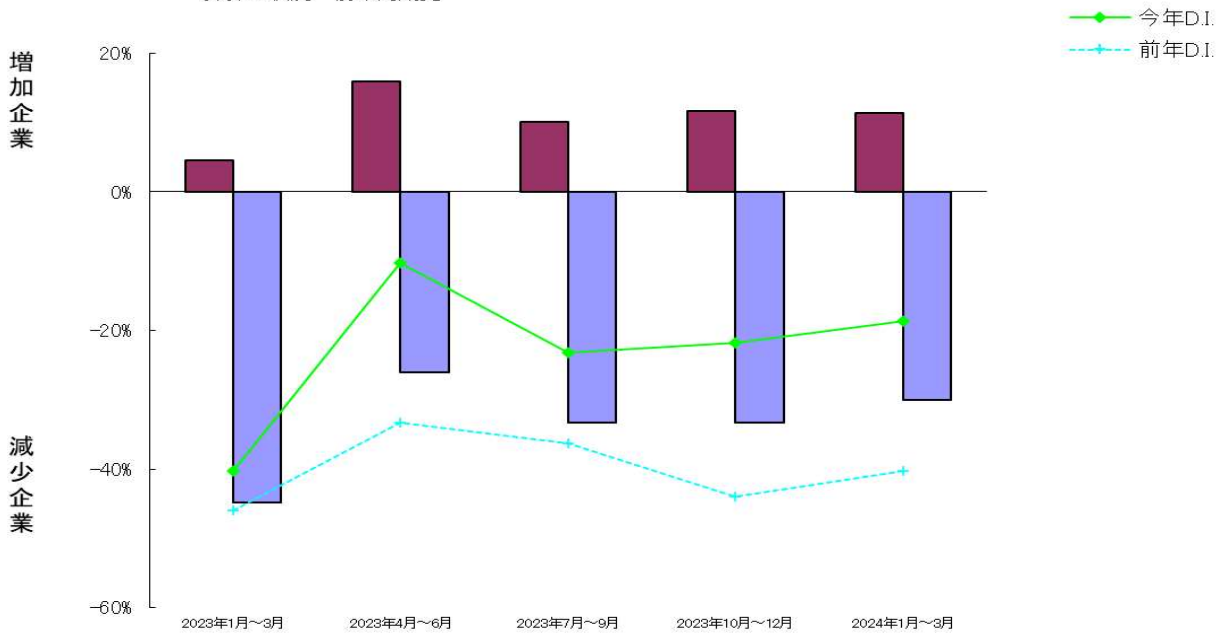
売上額の状況-前年同期比-



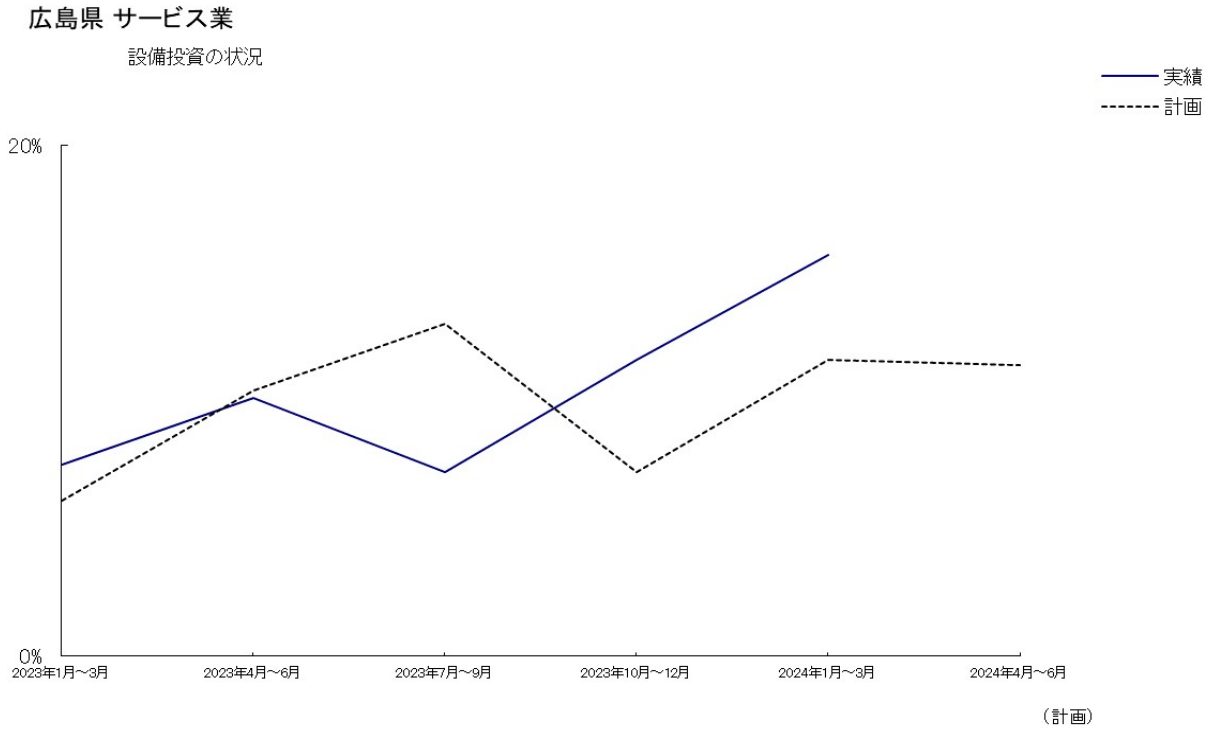
3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 サービス業

採算の状況-前年同期比-



4.設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

